

第3回選定委員会議事録

令和6年7月17日（水）

【理科】

◇委員長 理科の調査研究報告をお願いします。

◇調査員 東京書籍の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特徴といえるものや、良いと考えられる番号を読み上げる。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑥

第4の観点⑨、第5の観点⑩

他の発行者と比べて、特に優れていると考えられる特徴は、第3の観点⑥、第5の観点⑩である。

大日本図書。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑦

第4の観点⑨、第5の観点⑩

他の発行者と比べて、特に優れていると考えられる特徴は、なし。

学校図書。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑦

第4の観点⑨、第5の観点⑩

他の発行者と比べて、特に優れていると考えられる特徴は、第5の観点⑩である。

教育出版。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑦

第4の観点⑨、第5の観点⑩

他の発行者と比べて、特に優れていると考えられる特徴は、なし。

啓林館。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑥と⑦

第4の観点⑨、第5の観点⑩

他の発行者と比べて、特に優れていると考えられる特徴は、第3の観点⑥と⑦、第5の観点⑩である。

以上のような調査結果を踏まえ、優れていると考えられる特徴のある3社、東京書籍、学校図書、啓林館の教科書について詳しく説明する。

3者の共通の特徴である第5の観点⑩「デジタルコンテンツ等の取り扱い」について説明する。

A3の冊子「理科」の7ページ目のこの行。二次元コードの内容」について調査した。3社とも、動画だけでなくワークシートや振り返りシートなど学習を補助する

様々なコンテンツが充実しており、甲乙つけがたいものとなっている。強いて特徴を挙げるならば、東京書籍では実験動画において、人気の科学系ユーチューバーを起用している（2年275ページ）。学校図書では、各ページ端の二次元コードで、デジタル教科書にリンク出来るようになっている。啓林館では、音の単位において、音を波形で表す「オシロスコープ」の実験が各自で出来るようになっている（1年229ページ）。時間の関係で、今は開かないが、ご希望があったら、質疑応答の時間にお見せする。繰り返すが、全体的な内容に関しては3社とも充実しており、甲乙つけがたいものである。

第3の観点「主体的に学習に取り組む工夫」の⑥「学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫」について。

A3の冊子「理科」の4ページ目のこの行。日常生活や社会・職業との関わりの中で、理科で学んだことを活用したり、自ら課題を発見したりするための工夫について「読み物資料」を調査した。この小観点については、先ほど申し上げたとおり、東京書籍と啓林館が特徴的である。

東京書籍3年生の教科書118ページ。東京書籍の特徴は「歴史にアクセス」という読み物である。このような、まんがバージョンで多くが提示されているので、生徒にとって、感情移入しやすいと思われる。ここでは、ゾウガメの甲羅の形が違うというちょっとした疑問から、進化論に発展したことが示されている。同じく61ページ。ここでは、朝寝坊という失敗が、乾電池の発明につながったことを紹介している。このように、東京書籍の教科書は「科学が発展してきた歴史」を紹介することで、生徒の興味・関心を高めようとしているところが大きな特徴である。

一方、啓林館3年生の教科書1117ページ。啓林館では「部活ラボ」「お料理ラボ」等のタイトルからも分かるように、「身近な日常生活」の中でも「学校生活」という視点が意識されている。ここでは、スポーツ飲料・塩分タブレットとイオンの関係を示しており、同じく195ページ、ここではバスケットボールのシュートと力学の「慣性の法則」の関係を示している。

このように、啓林館の教科書では、「学校生活の中の科学」等を紹介することで、理科を学習することの有用性を生徒に感じさせ、生徒の興味・関心を高めようとしているところが大きな特徴である。

最後に、第3観点「主体的に学習に取り組む工夫」の⑦「科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫」について。A3の冊子理科の4ページ目のこの行。科学的な探究活動の手順の提示等について調査した。この小観点については、啓林館が特徴的である。

啓林館3年生の教科書125ページ。啓林館では、各単元の一箇所に「探Q実験」

を設定し、巻末に添付した「探Qシート」に生徒が書き込むことで、探究の過程に沿った学習活動が行えるようになっている。このページが、その「探Q実験」として設定されたものである。見ていただければ分かるように、この「探Q実験」では、自身で仮説を立て、その仮説を元に、自らが実験計画を立てる活動に紙面をさいている。この活動は、科学的に探究する力を育成するためにとっても重要である旨が、学習指導要領解説理科編に示されている。この「探Q実験」をサポートするのが、先ほど申し上げた「探Qシート」である。啓林館3年生の教科書の巻末の二つ折りのシートである。見ていただければ分かるように、実験を進めていく上でのヒント的なものが示されている。このシートを活用することで、生徒に実験の見通しをもたせ、探究の過程に沿った学習活動を促しているところが啓林館の大きな特徴である。

説明は以上である。再度申し上げるが、特徴的な小観点の数は、「学校図書」1つ、「東京書籍」2つ、「啓林館」3つである。

◇委員長 委員から質問はあるか。

まず、私から。啓林館、二次元コードでオシロスコープの実験が各自操作して確かめられるようになっているというような工夫が、高く評価できる点である。

東書か、啓林か、生徒の実態に即したものはどちらか。生徒が学ぶ様子を思い浮かべながら、感想を教えて欲しい。

◇調査員 バasketが苦手だけど理科が好きな子、そんな子が「慣性の法則」を意識してシュート練習をするようになるかもしれない。

◇委員長 学んだことを、他教科や日常生活と結び付けながら考えることはとても重要である。

◇委員 タブレット端末を使って、実験の観察・結果の考察に有用性のある会社はあるか。

◇調査員 特にない。

◇委員 スプレッドシート（振り返りシート）にアクセスできることはメリットがあるのか。

◇調査員 書き込みを考慮しても、3社、それほど差はない。

◇委員 スプレッドシート（振り返りシート）にアクセスできるという意味では、啓林館は特徴があると言って良いかもしれない。

◇委員長 理科の調査研究報告は以上とし、これより審議に入る。

東書、第3の観点。「身の回りの事象から科学的発見が行われてきたことを知って」とする。

学書、第5の観点。特になし。

啓林、第3の観点は⑥と⑦を取り上げている。まとめ「文章化」とする。

⑦、最初の一分はとる。「の一カ所」をとる。かわりに「探究活動のための『探Qシート』を設け、」とする。「この」の後ろに「科学的」を入れる。科学の思考を教えているということを強調するために修正した。よろしいか。感想があればお願いする。

(特になし)

啓林館⑦の特色が子供たちにより有効である。

理科の審議は、以上とする。

【美術】

◇委員長 美術の調査研究報告をお願いします。

◇調査員 総合的な所見について各教科書ごとに説明する。調査・研究報告書の1ページ。

開隆堂の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴と言えるものや良いと考えられる番号を読み上げる。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑤

第4の観点⑦、第5の観点⑨

光村図書の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴と言えるものや良いと考えられる番号を読み上げる。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑥

第4の観点⑦、第5の観点⑨

日本文教の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴と言えるものや良いと考えられる番号を読み上げる。

第1の観点①、第2の観点④、第3の観点⑤

第4の観点⑦、第5の観点⑧

次に特に3社の発行者において、優れていると考えられる特徴について観点ごとに簡潔に説明する。

開隆堂の教科書について説明する。

この教科書では、特に第1の観点、第3の観点を取り上げる。

第1の観点、知識及び技能の習得について。開隆堂2・3年生の教科書96ページ。表現の幅が広げられるよう「奥行きの表現」として「遠近法」について紹介されている。このように題材の横断的な知識や技能を培う資料を多彩に紹介するなど、各巻の巻末に「学びの資料」として系統的に整理して示されている。(美術1では18ページ、美術2・3では34ページが充当されている)2・3年生の教科書44ページ。各題材の学習で必要な知識や技能が「美術の用語」に示され、言葉

でつまずくことがなく学習に取り組むことができるよう、内容に関する用語を分かりやすく解説している。

第3の観点、主体的に学習に取り組む工夫について。

開隆堂2・3年生の表紙。表紙はゴッホの「ひまわり」であるが、思わず触りたくなるような加工が施され、デコボコとした触り心地で、絵の具を塗り重ねた筆跡が表され、興味・関心をもったり、触って作品の質感を想像したりできるように構成されている。2・3年生の教科書45ページ。作品図版をできるだけ大きく掲載しており、美しさや楽しさが伝わるように工夫されており、生徒の見方や感じ方を広げたり深めたりすることができるようになっている。

第2、第4、第5の観点については、A3の一覧に示している通りである。

このように、開隆堂の教科書は、生徒の興味・関心をもたせることにより、生徒の学習意欲を高め、確かな学力が身に付くように工夫されているところが、他と比較して特徴である。

光村図書の教科書について説明する。この教科書では、特に第1の観点、第3の観点、第5の観点を取り上げる。

光村図書の第1の観点、知識及び技能の習得について。美術1資料。「描く」「つくる」「写真」「映像」「発想・構想」「形・色・光」「色」について、基礎的な用具の使い方や色彩に関する知識など中学校3年間で必要な資料をコンパクトな別冊にしている。技法の解説動画や制作過程の動画を用意し、該当するページに二次元コードが示されるなど美術に苦手意識のある生徒も無理なく取り組めるよう工夫されている。

第3の観点、主体的に学習に取り組む工夫について。2・3年生の教科書27ページ。日本の絵画がもつ自然観や美意識を感じ取ることができるよう、5つのキーワード「四季」「動物」「不思議」「余白」「構図」を手がかりに日本美術をじっくり鑑賞できるとともに、日本の絵画をより本物に近い感覚で鑑賞できるよう、和紙のような風合いのある用紙を採用し、日本美術への理解が深まるような工夫がされている。

第5の観点、内容の表現・表記について。2・3年生の教科書14ページ。各題材において、題材名の横に二次元コードで、技法動画、全国の生徒作品、書き込みツール、鑑賞解説動画、作家作品関連動画、美術史用語、地域作品などを示している。特に「体感ミュージアム」では、鑑賞作品に書き込みや、360度回して鑑賞できるようになっており、生徒の見方が深まる新しい鑑賞の仕方が工夫されている。

第2、第4の観点については、A3の一覧に示している通りである。

このように、光村図書の教科書は、生徒が「資料」や「二次元コード」を参照しながら制作したり、見方が深まる豊かな鑑賞体験をしたりするなど、生徒が主体的に学びを深められるように工夫されているところや、とりわけこれまで1年生の教科書の巻末に掲載していた資料集を別冊資料にし、教師にとって指導しやすく生徒にとっても活用しやすいものにしたところが、他と比較して特徴であると言える。

日本文教の教科書について説明する。この教科書では、特に第3の観点、第5の観点を取り上げる。

第3の観点、主体的に学習に取り組む工夫について。2・3年生（上）の教科書11ページ。二次元コードから見られる2分程度の題材導入動画の中で、主題を生成する投げ掛けや、何を学ぶのかが提示されており、生徒が自分ごとに置き換えて主体的に捉えられるように「あなたならどう思うか？」と問うことで、対話を増やして学べる工夫がある。また、これにより教師の授業準備の負担を軽減するとともに、指導内容がより明確になり、どのような立場の教師にも活用しやすいコンテンツになっている。

第5の観点、内容の表現・表記について。1年生の教科書24ページ。作品を原寸大で掲載するなど大きく示し、細かい部分の表現まで見てとることができたり、屏風作品を実際に折って実感的に鑑賞できたりする工夫がある。奥行きが出て立体的に見えるなど、本物に近い形で見ることで作者の意図や工夫も理解しやすいなど鑑賞の視点を広げている。

第1、第2、第4の観点については、A3の一覧に示している通りである。

このように、日本文教の教科書は、教師の指導のしやすさや生徒の実感的理解を生み出すように工夫されているところが、他と比較して特徴であると言える。

- ◇委員長 光村、別冊の資料。これまでの教科書にはなかった編集の仕方か。
- ◇調査員 そうである。3学年分をうすい別冊に二次元コードも含めて、まとめてある。この点は利点である。
- ◇委員長 負担軽減になる。実際に活用できる教育場面が想定できるか。
- ◇調査員 できる。デジタルで書き込めるツールは、やり直しが効くので良い。
- ◇委員長 繰り返し試行できるのは、ICTを活用するメリットである。こういった工夫は、他社にないのか。
- ◇調査員 どの会社にもある。拡大できるものがある。書き込みツールは光村の特徴である。
- ◇委員長 回転できるのは光村だけか。
- ◇調査員 日本文教にもある。
- ◇委員長 その他はどうか。
(特になし)

美術の調査研究報告は以上とし、これより審議に入る。

開隆堂、第1観点。「学びの資料によって、書く」とする。文末を「ものになっている。」とする。他の題材を学んでいる時に学習がつながっていることを意識してもらうための工夫として評価できる。

第3の観点。「感覚的に伝わるような工夫によって、」とする。

その他はどうか。

(特になし)

光村を検討する。第3の観点。「和紙のような」を加える。

より具体的に表現した方が伝わるため。

テーマの切り分け方にも特色が見られるので、「四季」「動物」「不思議」「余白」と具体的に記す。

◇委員 光村、第3の観点⑤。同世代の作品を見られるのは良いことではないか。他の会社には記載されていないが。

◇委員長 ⑤の文末、「アクセスでき、創作意欲を喚起するのに有効である。」に~~に~~とする。
第5の観点⑨。「別冊資料は、教師にとって指導しやすく、生徒にとって活用しやすいものである。」を加える。

◇委員 別冊資料は、知識・技能のことをまとめているので、第1の観点にも付け加えて良いのでは。

◇委員長 第1の観点にも付け加える。これで、別冊資料の価値を高めることができると思う。

日文を検討する。

第5の観点⑧。「実感をもって感覚的に」とする。

数で言うと、光村が3つ。より優れているものを見ると、光村の別冊資料は特徴的である。○を付けても良いという捉えで良いか。

◇委員 良い。

◇委員 表紙のデザインに意図はあるのか。

◇委員長 その学年で扱う学習内容に合わせてということであろう。

日本文教、第5の観点⑧冒頭に「表紙掲載の作品の一部を原寸大で掲載するなど」とする。

以上で美術の審議を終わる。

【国語】

◇委員長 国語をお願いします。

◇調査員 総合的な所見について、教科書ごとに説明する。

東京書籍の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴と言えるものや良いと考えられる番号を読み上げる。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑧

第4の観点⑩、第5の観点⑫

三省堂。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑧

第4の観点⑨、第5の観点⑫

教育出版。

第1の観点②、第2の観点④、第3の観点⑧

第4の観点⑩、第5の観点⑫

光村図書。

第1の観点①、第2の観点④、第3の観点⑥

第4の観点⑩、第5の観点⑫

特に他の発行者と比べて優れていると考えられる特徴について観点ごとに簡潔に説明する。

東京書籍の教科書について説明する。この教科書では特に第1の観点と第5の観点を取り上げる。

第1の観点の「知識及び技能の習得」について。1年生の教科書66ページ、2年生の教科書62ページ、3年生の教科書66ページ。情報と情報との関係の捉え方や、比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方を生徒にとって身近な例を題材にして、体系的に学ぶことができるようにしている。また、その学習が、例えば2年生では、前に学習した「ネコだって推理できる」や後の「『地球の魅力』の紹介文」と併せて学習できる設定になっており、学習の連続性がある。

第5の観点「内容の表現・表記」について。1年生の教科書50ページ。「話す・聞く」の「インタビュー」では、「話を聞いて質問するとき、どんなことに気をつけたらいいんだろう」と課題を提示している。その課題を意識しながら、二次元コードから活動動画を視聴し、学習を進められるようになっている。174ページ。

「似ている言葉」スピーチの活動動画では、良い例と悪い例のスピーチ例がある。その二つの動画を見比べながら、よいスピーチをするためには何が必要なのか考え、自分のスピーチに生かしていく。また、デジタルコンテンツの「言葉を広げよう」では、例えば「頻度を表す言葉」「心情を表す言葉」などテーマごとに語彙が検索でき、意味や用例を確認し、言葉の世界を広げながら、自己表現に生かすことができる。

三省堂の教科書について説明する。この教科書では特に第2の観点と第3観点、第5の観点を取り上げる。

第2の観点の「思考力・判断力・表現力等の育成」について。「話す・聞く」において、1年生の教科書36ページ、2年生の教科書38ページ、3年生の教科書46ページ。「グループディスカッション」を設定した学習活動。学校生活を話題にしたテーマ例が示してあったり、話し合いのコツが1年次から系統的かつ具体的に書かれてあったり、見通しをもって段階的に学びを深めたりすることができるように設定されている。また、それぞれ学習の最後のページの左下にある「生かそう」では、例えば、1年生では39ページ。ここで学習して身に付けた「話し合いのコツ」を他の教材や他の教育活動で生かす視点を与えている。さらにその学習の動画には、「グループディスカッション」で上手くいった場面と上手くいかなかった場面の提示があり、それを見比べることによって、どうして上手くいかなかったのかを考えることができ、評価する力を養うことができるようになっている。

第3の観点「主体的に学習に取り組む工夫」について。1年生教科書182ページの「学びの道しるべ」。まず教材の目標が提示されている。学習の流れは、「作品の構造や内容を捉える」「読み深める」「自分の考えを深める」「学習を振り返る」である。右下には、学習を進める上で活用する「思考の方法」が示してある。例えばここでは、比較の思考を使い、自分の考えを深める活動を行う。「学びを振り返る」には、振り返りのキーワードが示してあり、その教材の目標に対しての学習の定着が図れるようになっている。また、184ページ。「読み方を学ぼう」のページがあり、そこにも、その教材で目標に迫るための文章を正確に読み解き、深く読み味わうための「技」や「こつ」を学べるように設定してあり、学びの関連性がある。

第5の観点「内容の表現・表記」について。二次元コードのある教材では、教材の解説・関連資料を見ることができ、単元学習の参考にできるように設定されている。3年生の教科書187ページ。教材「故郷」。二次元コード参考資料を読み取ると、NHK for schoolの動画が視聴できるようになっている。同じく187ページの漢字の二次元コードを読み取ると漢字のデジタルドリルがあり、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。

最後に、光村図書の教科書について説明する。この教科書では特に第1の観点と第5の観点を取り上げる。

第1の観点の「知識及び技能の習得」について。資料として「語彙ブック」がある。各学年教科書1・2年生は267ページ、3年生教科書は247ページ。描写・言動・思考・コラムという分類で学年に応じた語句が整理されており、自分の

思いや考えにぴったりの表現を見つけ、言葉の世界を広げ、表現活動に生かすことができるようになっていく。また、デジタルコンテンツで「言葉の宝箱」を開けば、今までに学んできた言葉を確認できるようになっており、語彙力の向上を意識していることがうかがえる。

第5の観点「内容の表現・表記」について。教材ごとの二次元コードで動画や関連資料を見ることができるほか、1・2年生教科書262ページ、3年生教科書242ページ。C B T（コンピュータを使用した試験）形式の問題があり、身に付けた資質・能力を活用して、問題に取り組む設定がある。解答のテキスト入力・自己採点ができ、生徒の学習に役立てることができる。また、発展問題にも挑戦でき、学習の定着が図れる。

以上で、国語科教科書の説明を終わる。

◇委員長 三省堂。第3の観点⑧。思考の方法、具体例はどこか。

◇調査員 1年生は182ページである。

◇委員長 コラム的なものだが、ここに思考の方法の学びがあるということか。

◇調査員 そうである。

◇委員長 「読み方を学ぼう」は、読む時のスキルについて取り上げている。読むことに力を入れた教科書と言って良いのか。

◇調査員 良い。

◇委員長 そうであれば、どちらも、活用できる技能として設定されていると考えて良い。技能の習得に力を入れている。

もし三省堂に変わったとしても、文学教材は定番教材も多い。問題はないと思うが、良いか。

◇調査員 良い。

◇委員長 それなら、三省堂に変わっても現場の先生に負担は無さそうである。

語彙力は知識・技能なので、そういったところから、第1の観点にもってきているのか。

◇調査員 そうである。

◇委員 三省堂を取り入れると、第5の観点で、生徒に力が付くなど特徴的なところはあるか。

◇調査員 二次元コードを読み取れば、いろいろな知識を習得できる。

◇委員長 「話すこと・聞くこと」の動画の様子や、作文例は他社にあるか。

◇調査員 ある。上手くいった場面、上手くいかなかった場面を見比べることで、考えることができる。

◇委員長 これは特徴として、取り上げても良い点である。学習活動がイメージしやすい。

- ◇委員 思考力を養うという視点から、何か特徴があれば教えて欲しい。
- ◇調査員 生徒の学力の課題として、比較・関係付けが弱い。特徴的に生徒が学習しやすいものを見ると、三省堂は目次に「情報に関係づける」など、どんな力を付けたいかを見取りやすくなっている。生徒にもそれが分かりやすくなっている。
- ◇委員 分かった。
- ◇委員長 ○の数だけでなく、どの観点を重く見るか。第2・第3の観点が特に重要でないか。
- ◇調査員 そうである。
- ◇委員長 全国学調の課題からも、ここに重点を置いて良いか。
- ◇調査員 良い。
- ◇委員 文学教材が尾道の生徒の課題。光村は「学びのとびら」が横書きになっている。何か議論はあったか。
- ◇調査員 特にはなかった。違和感があった。
- ◇委員 これまでとは違ったアプローチであったので、聞いてみた。
- ◇委員長 続いて書写の調査研究報告をお願いします。

【書写】

- ◇調査員 総合的な所見について、教科書ごとに説明する。調査報告書の1ページ。
- 東京書籍の総合的な所見の中で、それぞれの観点ごとに特に特徴と言えるものや良いと考えられる番号を読み上げる。
- 第1の観点②、第2の観点③、第3の観点④
第4の観点⑦、第5の観点⑨
三省堂。
- 第1の観点②、第2の観点③、第3の観点④
第4の観点⑦、第5の観点⑨
教育出版。
- 第1の観点②、第2の観点③、第3の観点④
第4の観点⑦、第5の観点⑨
光村図書。
- 第1の観点①、第2の観点③、第3の観点⑤
第4の観点⑦、第5の観点⑨
- 次に、特に他の発行者と比べて優れていると考えられる特徴について観点ごとに簡潔に説明する。

東京書籍の教科書について説明する。この教科書では特に第1の観点と第5の観点を取り上げる。

第1の観点の「知識及び技能の習得」について。教科書25ページ。第1学年「行書 点画の変化」において、筆脈を点線で示している。行書は、中学校で初めて指導する内容である。字形の整え方、運筆の際の圧力のかけ方、筆脈を意識した点画のつながりなどを身に付けさせるために、この教科書では、筆の動きを点線で分かりやすく示している。26ページ。多くの漢字には、行書では「二」の動き、「十」の動き、「口」の動き、「人」の動きの四つの動きがあるとし、その四つの動きのパターンを意識させている。28ページ。朱墨で筆使いを示すのと併せ、「四つの動き」をアイコンで示し、学習材の文字がどのような動きを意識した筆脈であるか筆使いを示している。第2学年、第3学年も同様に4つの動きをアイコンで示している。それらの工夫で、行書の特徴を確認しながら学習を進めることができる。

第5の観点の「内容の表現・表記」について。44ページ。該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスし、書写テストに回答できるようになっている。実際にアクセスしてみると、解説もあり、個人で学習の振り返りができ、学習の定着が確認できるようになっている。44ページは第1学年のテスト、第2学年、第3学年も同様にある。

三省堂の教科書について説明する。この教科書では特に第2の観点と第3の観点を取り上げる。

第2の観点の「思考力・判断力・表現力等の育成」について。教科書78・79ページ。資料編。便箋と封筒の書き方では、便箋や封筒を使って手紙を出す場合の文章の構成や文字を書く位置などの決まりを学習する。さらに手書きの構成（横書き）では、パソコンで書く場合にも、手書きと同じ構成だと読みやすいということに触れている。他教科やさまざまな教育活動と関連させた学習となり、より実生活と関連付けて考えやすくなっている。

第3の観点の「内容の構成・配列・分量」について。この教科書では、他教科やさまざまな教育活動と連携した指導計画が立てられるようになっている。教科書44・45ページ。1年ではグループ新聞づくりの例が示してある。今まで学習してきたことを生かし、協働的に活動する単元として設定されている。相手意識を持ち、書体や文字の大きさを選択することを求める。また、2年生64・65ページ、3年生74・75ページ。2年生は情報誌づくりの例、3年生は名言集づくりの例である。2年生では、書体や文字の大きさだけではなく、筆記具の選択、3年生では、さらに文字を書く位置、紙の選択など系統的に学習活動を進め、より実生

活と関連付けて考えやすくなっている。

光村図書の教科書について説明する。この教科書では特に第1の観点と第3の観点、第4の観点を取り上げる。

第1の観点「知識及び技能の習得」について。書写ブック30ページから36ページ。スタートブックとして、姿勢（書くときの姿勢・タブレットを使うときの姿勢）・筆記具の持ち方、用具の準備、片付け。32ページ。SDGsと書写を関連付けて考える工夫がある。同じく32ページには、筆記具の持ち方と用具の準備では右手用・左手用が二次元コードから見ることができ、左利きの生徒への配慮がうかがえる。また、34ページ。「タブレットを活用しよう」というコーナーがあり、学びを深めるためにタブレットの活用を紹介している。筆使いや姿勢、持ち方の動画を見たり、書いている姿を撮影して互いに確かめ合ったり、書いた文字を撮影して自己評価したりすることを紹介している。

第3の観点「主体的に学習に取り組む工夫」について。52ページ。1年生行書の学習のスタートにあたり、行書の特徴を4つに整理し、「行書スイッチ」を提示し、生徒が主体的に考え、文字の書き方への理解を深めようとしている。そのページの二次元コードのアニメーションを見れば、その4つの視点がよく分かるようになっている。また、54・55ページ。「考えよう」では、学習材の文字がどのスイッチを意識して書く文字なのかが示してあり、さらに「確かめよう」では、筆使いを「ぴょん」「ぴたっ」と擬音語で示し、筆遣いをイメージしやすくしている。

第4の観点「内容の構成・配列・分量」について。この教科書では、楷書、行書の学習を経て、楷書と行書の使い分けや文字を使い分け、日常に役立つ書式の学習という配列になっているため、学習の見通しがもてる。78・79ページ。場面に応じて、楷書か行書を選択する学習が設定されている。94・95ページ。目的に応じて、文字の使い分けを考える学習が設定されている。110ページからは、日常に役立つ書式として、学習したことが具体的に実生活に役立ち、日常生活で活用できるようにまとめられている。また別冊書写ブックを活用して、書く力の定着を図ることができる。

以上で書写の説明を終わる。

◇委員長 国語と書写の教科書会社は同じ方が有効か。別でも良いか。

◇調査員 別々でも問題ない。書写で身に付けたい力という視点で選びたいと思う。

◇委員 芸術祭との関わりにおいて、どの教科書でも良いか。

◇調査員 良い。

◇委員長 国語の東書、第1の観点②。「また、単元間の学習項目の連続性が考慮されている」を加える。

第5の観点⑫。「良い例・悪い例の比較動画」を加える。

三省堂、第2の観点④。文頭に「单元ごとに身に付けたい思考力・判断力・表現力の具体を分かりやすく示している。各学年の」を加える。「されており、協働的学習活動を行うための、話し合いのスキルが」とする。

第3の観点⑧。文頭「单元冒頭の『学びの道しるべ』で单元目標と学習活動の手順を分かりやすく示し」とする。「国語科で身に付けたい思考の方法を示し」とする。

第5の観点⑫。「良い例・悪い例の活動動画や作文例を見ることができ、活動の具体をイメージすることができる。」とする。

◇委員 第2の観点④。「見通しをもって」は、思考・判断ではないか。

◇委員長 「見通しをもって」の一文を削除する。

◇委員 光村、第5の観点⑫。発展問題に取り組めることは特徴ではないか。

◇委員長 「また、発展問題も用意されており、学習の定着が図れる。」とする。

◇委員長 ○の数を整理すると、三省堂の評価が高い。

思考力・判断力・表現力の育成につながる第3の観点に○が付いているものは評価できる。特に三省堂。

東書を検討する。

第1の観点②。「行書の字形の整え方・運筆の際の圧力のかけ方・筆脈を意識した点画のつながりなどの特徴を確認しながら学習を進めることができる。」とする。

◇委員 目次。1から3年生で段階的に整理されている。ここに触れなくて良いか。

◇委員長 「『1年、身に付ける。』『2年、使い分ける』『3年、使いこなす』と、3年間の学習の大きなめあてが示されている。」を第2の観点④の文頭に付け加える。

三省堂、第2の観点③。「また、手書きの構成（横書き）、パソコンで書く場合のことにも触れており、他教科の活動にも関連する学習となっている。」とする。

第3の観点④。「单元では、協働的な活動が設定されており、相手意識をもち、書体や文字の大きさを選択することを教えている。」とする。

◇委員 80ページ。尾道の住所が載っている。尾道教育総合推進計画に即している。

◇委員長 第5の観点⑨。「文例に尾道市の住所が使われている。」とする。

光村、第1の観点①。「書写ブックでは、スタートブックとして、姿勢、筆記具の持ち方、用具の準備、学習活動の基本的なことをきちんと教えている。」を加える。「『タブレットを活用しよう』というコーナーを設定し、学びを深めるためにタブレットを活用する際の筆使いや姿勢、持ち方を動画で示し、また、書いている際の姿を撮影して互いに確かめ合える」とタブレットの活用の方法を評価できるよう付け加える。

第4の観点⑦。「学習によって身に付けることの見通し」とする。

◇委員 光村にも尾道が載っている。

◇委員長 「尾道市が使われている」を付け加える。

本日の審議は以上とする。事務局から連絡等があればお願いします。

◇事務局 次回連絡